

日本光学会平成 20 年度第 186 回幹事会議事録

日 時： 2009 年 1 月 28 日(水) 13:30~17:00

場 所： 機械振興会館地下 3 階研修 2 号室

参加者： 谷田貝幹事長，他 47 名

議 事：

1. 第 2 回常任幹事会議事録の確認

- ・第 2 回常任幹事会議事録は承認された。

2. 平成 21 年度幹事選挙結果報告

- ・平成 21 年度幹事選挙により，幹事会推薦候補者 20 名全員が選出されたことが報告された。

3. 次期幹事役職審議および幹事自己紹介

- ・平成 21 年度幹事の役職構成が提示され，全役職が承認された。

4. 報告事項

4-1. 「光学」関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・「光学」は順調に出版されていることが報告された。
- ・「光学」記事を英訳して OR に掲載するという OR 出版委員会からの提案を継続して検討していることが報告された。

4-2. 「OPTICAL REVIEW」関連報告

(1) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・掲載および投稿論文状況が報告された。国内からよりも海外からの投稿が多くなったことが報告された。
- ・OR の編集システムが電子化されたことが報告された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・OR へのアクセス数が示され，おおむね順調に推移していることが報告された。
- ・アメリカ光学会との連携について，議論を開始したことが報告された。OR の独自性について，今後検討していくことが報告された。

4-3. 講演会関連報告

(1) 第 34 回光学シンポジウム進捗報告

- ・第 34 回光学シンポジウム予算(案)が提示された。審議され承認された。
- ・20 団体から協賛依頼の承諾を得たことが報告された。
- ・一般講演募集を開始したことが報告された。

(2) カラーフォーラム JAPAN 2008 結果報告

- ・2008 年 11 月 25~27 日に開催されたカラーフォーラム JAPAN の実施概要が報告された。
- ・収支の中間報告がなされ，赤字が見込まれることが報告

された。

(3) Optics & Photonics Japan 2008 結果報告

- ・収支結果が報告され，赤字であることが報告された。
- ・参加者へのアンケートの結果が報告され，今後の開催に参考となる意見が寄せられたことが報告された。

(4) 第 35 回冬期講習会結果報告

- ・2009 年 1 月 22~23 日に開催された冬期講習会の参加者数が 47 名であることが報告された。
- ・参加者へのアンケート結果から，冬期講習会に対する満足度が高かったことが報告された。
- ・収支決算は赤字が見込まれることが報告された。

(5) 平成 20 年度北海道地区学術講演会結果報告

- ・参加者数は 231 名であり，奨励賞受賞者 3 名および収支決算について報告された。

(6) 平成 20 年度光学 5 学会関西支部連合講演会進捗報告

- ・プログラムが決定し，準備が順調に進んでいることが報告された。

(7) 平成 20 年度関西講演会結果報告

- ・参加者数は 59 名であり，盛況であったことが報告された。

(8) 第 4 回光応用新産業創出フォーラム進捗報告

- ・進捗状況が示され，準備が順調に進んでいることが報告された。
- ・産学官連携委員会のホームページを開設したことが報告された。

(9) ODF 2008 Taipei 収支報告

- ・日本側および台湾側の収支結果が報告され，日台の合同収支は，赤字であることが報告された。

4-4. その他報告事項

(1) 協賛依頼について

- ・6 件の協賛依頼が承諾されたことが報告された。

(2) 会員動静について

- ・2008 年 12 月に個人会員が 54 名減少，特別会員が 7 名減少し，12 月末において会員数が 1841 名であることが報告された。

(3) 収支計算書について

- ・2008 年 1 月 1 日~11 月 30 日までの収支が示され，平成 20 年度収支は赤字を予測していることが報告された。

(4) 日本光学会への旅費申請について

- ・日本光学会への旅費申請について，注意事項が説明された。

- (5) 日本光学会ホームページについて
- ・2008年11月21日～2009年1月20日までの日本光学会ホームページへのアクセス数が示され、平常どおりであることが報告された。
 - ・2社とのバナー広告契約（2009年分）を更新したことが報告された。
 - ・英語版ホームページを刷新したことが報告された。
- (6) 500人会員増計画進捗報告
- ・日本光学会開催の各イベントにおける会員増施策の実施状況を調査する予定であることが報告された。
- (7) 平成20年度日本光学会総会の案内について
- ・平成20年度日本光学会総会および平成20年度光学論文賞授賞式の日時と場所が報告された。
- (8) アカデミック・ロードマップワーキンググループ委員の件
- ・ワーキンググループ委員を日本光学会幹事から出してほしいとの依頼が応用物理学会からあり、2名の幹事が選出されたことが報告された。
- (9) 東京工業大学精密工学研究所の共同利用・共同研究拠点化について
- ・文部科学省の共同利用・共同研究拠点の認定制度に、東京工業大学精密工学研究所が応募したく、日本光学会に推薦を依頼されたことが報告された。日本光学会として推薦する旨回答したことが報告された。推薦は応用物理学会からなされることが報告された。
- (10) JSTアーカイブ化に関する件
- ・「光学」のJSTアーカイブ化に関する経緯が報告され、2月中にJST側と打ち合わせを行い、アーカイブ作業に入る事が提案された。審議され了承された。
- (11) Wikipediaに関する件
- ・Wikipediaの光学関連用語ページから日本光学会および各研究グループのホームページへ外部リンクを作成したことが報告された。

3. 審議事項

- (1) 平成21年度活動年間計画（案）
- ・平成21年度活動年間計画（案）が提示され、了承された。
- (2) 収支改善に関する提案：賛助会員企業へのサービス向上について
- ・日本光学会の収支増施策として、賛助会員数の増加策が提案された。本増加策とは、賛助会員の口数に応じて日本光学会主催のイベントへの参加券を配布するという内容である。
 - ・賛助会員数の増加策について、平成21年4月から試行的に実施することが承認された。

- (3) 日本光学会国際協力支援金とOIE'09共催開催の申請について
- ・日本光学会との共催による日本-フィンランド・ジョイント・シンポジウム(OIE'09)の開催が申請された。本共催申請は承認された。
 - ・OIE'09の開催に向けて、国際協力支援金が申請された。内規では国際協力支援金は研究グループに対して認めるものであるため、承認するには内規を変更する必要があるとの意見が出された。次回以降の幹事会で内規改訂を議論し、その後、本申請を再審議することになった。
- (4) アメリカ光学会(OSA)との協定について
- ・日本光学会とOSAとの協定締結を進めていることが報告された。
 - ・協定の草案が提示され、審議の後、了承された。
- (5) 「デジタルオプティクス」研究グループ設立の件
- ・研究グループ設立の主旨が説明され、設立が了承された。
 - ・現在の申請書には記載すべき項目の内規がないことが指摘され、次回以降、申請書に関する内規を検討することになった。

第3回常任幹事会

2009年3月17日(木)に、応用物理学会資料室において開催されました。第186回幹事会議事録の確認、「光学」編集報告、「OR」編集報告および出版報告、光学シンポジウム進捗報告、カラーフォーラムJAPAN 2009の結果報告、Optics & Photonics Japan 2008結果報告、冬期講習会結果報告、光学5学会関西支部連合講演会結果報告、関西講演会結果報告、光応用新産業創出フォーラム結果報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、収支計算書、光学会ホームページについて、500人会員増計画進捗報告、研究グループ活動報告、平成21年度活動年間計画、賛助企業への参加券配布、OSAとの協定、電気通信大学レーザー新世代研究センターの共同利用・共同研究拠点化、広報活動について報告がありました。さらに、OIE'09国際会議支援金の申請、総会資料（事業報告・会計報告）についての審議がなされました。また、「光学」のJSTアーカイブ化に関して報告がありました。なお、詳しい幹事会議事録は第38巻第7号に掲載予定です。

第244回「光学」編集委員会

2009年3月13日(金)に応用物理学会会議室において開催されました。第38巻第11, 12号, 第39巻第1, 4号

の企画決定、第39巻第2、3号の第二次構想案、第39巻第5、6号の第一次構想案の審議、第39巻第7～9号の号担当の決定が行われました。その後、書評進捗状況についての報告、光学の進展号についての引き継ぎ事項、次年度の編集委員会開催日程、論文投稿・審査状況、各号の進捗状況、会計等の報告がなされました。

平成20年度日本光学会総会

平成20年度総会は2009年3月31日(火)に筑波大学において開催され、まず谷田貝幹事長より幹事長挨拶が行われたのち、今年度の動向についての説明がありました。

- ・経済状況が厳しい中であって、各企画への参加者がなかなか伸びないが、こういう時こそ基礎を固めて将来飛躍するためのサービスを提供していく。
- ・会員数も微減の状況が継続的に続いているが、若い研究者を増やしていきたい。
- ・OPJ 2008では、SPIEの会長を招いて特別講演を企画した。グローバル化が進む中で、日本光学会として、今後もさらに国際化を展開していきたい。
- ・津村庶務幹事(総務)より平成20年度事業報告および平成21年度事業計画、飯塚会計幹事より平成20年度決算報告、菅谷会計幹事より平成21年度予算案が提示され、承認された。
- ・総会に引き続き、平成20年度光学論文賞授賞式が行われ、笹川清隆氏(奈良先端科学技術大学院大学)と安井武史氏(大阪大学)が受賞された。授賞式終了後、笹川氏と安井氏による光学論文賞受賞記念講演が行われた。

なお、日本光学会の平成20年度事業および平成21年度の計画などに関する情報は、第38巻第7号の「日本光学会平成20年度年次報告」で詳細が掲載される予定です。

第34回光学シンポジウム

日時：2009年7月2日(木) 9:15～17:10,
懇親会 17:30より
3日(金) 9:20～17:40

場所：東京大学生産技術研究所 An棟コンベンションホール(東京都目黒区駒場4-6-1)

主催：日本光学会

参加費：日本光学会会員(米国SPIE会員・韓国OSK会員を含む[協定による])3,000円、応用物理学会会員・協賛学会/協会会員および日本光学会賛助会員所属の方5,000円、非会員7,000円(一般)・1,000円(学生)、日本光学会の学生会員無料。

申込方法：早期参加申込(郵便振替にて割引有)もしくは

は当日現金支払い。早期参加申込は「光学」第38巻第4号に挟み込みの専用振替用紙、または光学シンポジウムのホームページに記載の振込手順にてお手続きください。

問合せ先：オリンパス(株)研究開発本部 大出 寿

〒192-8512 東京都八王子市久保山町2-3

電話 042-691-8089 Fax 042-691-7573

E-mail: optsympo34@friend.ocn.ne.jp

最新・詳細情報は、第34回光学シンポジウムのホームページ <http://annex.jsap.or.jp/OSJ/meet/symposium/> をご覧ください。

第10回ポリウムホログラフィックメモリ技術研究会

テーマ：ホログラフィックメモリと関連技術

日時：2009年6月4日(木) 13:30～17:10, 懇親会 17:10～18:30

場所：神戸大学六甲台キャンパス瀧川記念学術交流会館(〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1)

主催：日本光学会ポリウムホログラフィックメモリ技術研究グループ

プログラム：①「コリニアホログラフィックメモリー」渡邊健次郎(豊橋技科大)、②「ホログラム多重記録の3次元数値解析法」吉田周平(東京理科大)、③「広帯域光源を用いた書き換え型ホログラフィックメモリー」藤村隆史(東大生研)、④「計算機合成ホログラムの光学素子とディスプレイへの応用」松島恭治(関西大)、⑤タイトル未定、講演依頼中

参加費：一般4,000円、学生1,000円

申込方法：当日受付(事前申込不要)

問合せ先：VHM技術研究会事務局 笠澄研一(パナソニック)

E-mail: kasazumi.kenichi@jp.panasonic.com

詳しくはホームページ <http://qopt.iis.u-tokyo.ac.jp/VHM/index.html> をご覧ください。

第15回光波シンセシス研究グループ講演会

テーマ：超高速現象の可視化

日時：2009年7月3日(金) 13:00～17:00

場所：千葉大学VBL会議室(〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33, <http://www.vbl.chiba-u.jp/index-jp.htm>)

主催：日本光学会光波シンセシス研究グループ

プログラム：①13:00「イントロダクトリートーク」尾松孝茂(千葉大)、②13:10「ラマンコヒーレンスの

断熱操作による超短パルス光の新しい発生法」桂川眞幸(電通大), ③ 13:45「電界カメラによるマイクロ波帯・ミリ波帯信号波動伝搬の実時間観察」土屋昌弘・塩沢隆広(情報通信研究機構), ④ 14:20「ホログラフィによる超短パルスレーザー光伝播の動画像記録と観察」栗辻安浩・久保田敏弘・西尾謙三・裏升吾(京都工繊大), ⑤ 15:15「紫外フィラメンテーション光源を利用した超高速光電子イメージング」鈴木俊法(京都大), ⑥ 15:50「フェムト秒レーザー励起光電子顕微鏡による表面プラズモン可視化」久保敦(筑波大), ⑦ 16:25「フェムト秒時間分解STMによるナノスケールイメージング」重川秀実(筑波大)

参加費: 1,000円(学生500円)

参加申込: 不要

問い合わせ先: 千葉大学大学院融合科学研究科 尾松孝茂

電話 043-290-3477 Fax 043-290-3490

E-mail: omatsu@faculty.chiba-u.jp

<http://physics.tp.chiba-u.jp/~omatsu/lws/>

詳しくはホームページ <http://physics.tp.chiba-u.jp/~omatsu/lws/> をご覧ください。

ナノオプティクス研究グループ第18回研究討論会

期 日: 2009年7月23日(木)~24日(金)

場 所: 京都大学宇治キャンパス

主 催: 日本光学会ナノオプティクス研究グループ

講演討論内容: 一般講演, ショート講演, 招待講演を予定。優れた講演には「ナノオプティクス賞」贈呈。

参加費: 一般5,000円, 学生1,000円

講演申込方法: E-mailにて講演題目, 氏名, 勤務先, 連絡先をお知らせください。

講演申込締切: 2009年6月19日(金)

講演予稿締切: 2009年6月29日(月)

申込・問合せ先: 慶應義塾大学理工学部電子工学科

齋木敏治 〒223-8522 横浜市港北区日吉3-14-1

電話 045-566-1784 Fax 045-566-1529

E-mail: saiki@elec.keio.ac.jp

URL: <http://www.nano-optics.jp/>

公開研究会「食品生産・流通における赤外放射の応用—安全・安心な食への動向と展望—」

期 日: 2009年6月19日(金) 13:00~17:00

場 所: 埼玉大学東京ステーションカレッジ(丸の内)

JR東京駅日本橋口(東京都千代田区丸の内1-7-12)

JRサピアタワー9階)

主 催: (社)照明学会

協 賛: 日本光学会

参加申込: 事前に氏名, 所属, 連絡先, E-mailアドレスを下記までお知らせください。

(社)照明学会事務局 宮尾慎一

E-mail: ieijsumu@sepia.ocn.ne.jp

参加費: 2,000円(資料代を含む。当日徴収)

参加締切: 2009年6月5日(金)(定員になり次第締切)

プログラム: 下記URLを参照。 <http://www.ieij.or.jp/event/2009/090619kenkyukai.html>

問合せ先: 信州大学繊維学部創造工学系 石澤広明

〒386-8567 上田市常田3-15-1

電話/Fax 0268-21-5400

E-mail: zawa@giptc.shinshu-u.ac.jp

日本分光学会第45回夏季セミナー

期 日: 2009年9月1~3日

場 所: 幕張メッセ国際会議場

主 催: (社)日本分光学会

協 賛: 日本光学会

参加費: 会員10,000円, 学生3,000円

定 員: それぞれ100名

申込期限: 定員になり次第締切

問合せ先: 日本分光(株)赤外ラマン技術部 赤尾賢一

電話 042-646-4109 Fax 042-646-4120

E-mail: ken-ichi.akao@jasco.co.jp

URL: <http://www.jasco.co.jp/>

第7回新材料とデバイスに対する原子レベル・キャラクター化に関する国際会議(ALC'09)

テーマ: 新材料・新デバイスの原子スケールキャラクター化・イメージング・分析法・分析装置に関する研究発表。表面・界面の新分析装置や新しい応用の発表。

期 日: 2009年12月6日(日)~11日(金)

場 所: ハワイ・マウイ島

主 催: (独)日本学術振興会マイクロビームアナリシス第141委員会

共 催: (社)日本表面科学会

協 賛: 日本光学会ほか

発表申込締切: 2009年6月5日

問合せ先: ALC'09実行委員会事務局 日比野浩樹(NTT)

E-mail: alc09@jsps141.surf.nuqe.nagoya-u.ac.jp

URL: <http://alc.surf.nuqe.nagoya-u.ac.jp/alc09/>

「光機器の光学」技術講座

日 時： 2009年6月16, 17, 23, 24日 10:30~16:30
7月7, 8, 14, 15日 10:30~16:30

会 場： 機械振興会館別館4階研修室（東京都港区芝公園3-5-22）

主 催：（社）日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会

参加費： 1名につき、一般162,750円、正会員105,000円、賛助会員130,200円、協賛147,000円（テキスト・消費税を含む）

定 員： 30名

申込期限： 2009年6月9日（火）

問合せ先：（社）日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

URL: http://www.joem.or.jp

税を含む)

定 員： 30名

申込期限： 2009年6月19日（金）

問合せ先：（社）日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

URL: http://www.joem.or.jp

「レンズ設計入門」技術講座

日 時： 2009年7月23日（木） 10:00~16:30
24日（金） 10:00~16:20

会 場： 機械振興会館別館4階研修室（東京都港区芝公園3-5-22）

主 催：（社）日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会

参加費： 1名につき、一般68,250円、正会員45,150円、賛助会員54,600円、協賛60,900円（テキスト・消費税を含む）

定 員： 30名

申込期限： 2009年7月16日（木）

問合せ先：（社）日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

URL: http://www.joem.or.jp

「CCD/CMOS カメラ信号処理技術入門」技術講座

日 時： 2009年6月26日（金） 10:00~17:00

会 場： 機械振興会館別館4階研修室（東京都港区芝公園3-5-22）

主 催：（社）日本オプトメカトロニクス協会

協 賛： 日本光学会

参加費： 1名につき、一般38,850円、会員25,200円、賛助会員30,450円、協賛34,650円（テキスト・消費

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学4系中内研究室

伊藤光学工業(株)共同研究員 宮澤佳苗

電話 0532-44-6765 Fax 0532-44-6651 E-mail: k-miyazawa@itohopt.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」および「光学関連会合予定」の掲載基準 (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/kogaku/news-keisai.html>) をご確認ください。

日本光学会平成21年度幹事 (*常任幹事)

幹事長：	谷田貝豊彦* (宇都宮大)	
副幹事長：	志村 努* (東京大)	加藤 純一* (理研)
前幹事長：	伊東 一良 (大阪大)	
庶務幹事：	厚海 広道* (リコー)	橋本 信幸* (シチズンホールディングス)
	森 雅彦* (産総研)	向井 香織* (ニコン)
	佐々木雄三* (NTT)	飯塚 隆之* (HOYA)
	宮澤 佳苗* (伊藤光学工業)	安田 晋* (富士ゼロックス)
	渡邊恵理子* (日本女子大)	
『光学』編集幹事：	梅田 倫弘* (東京農工大)	山口 雅浩 (東工大)
『Optical Review』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	佐々木修己* (新潟大)
国際協力幹事：	西村 吾朗 (北海道大)	津田 裕之 (慶應義塾大)
産学協力幹事：	藤川 久喜 (豊田中研)	石樽 崇明 (慶應義塾大)
将来問題担当幹事：	佐藤 学 (山形大)	戸田 泰則 (北海道大)
電子化担当幹事：	松坂 慶二 (コニカミノルタオプト)	河野 裕之 (三菱電機)
事業・企画担当幹事：	辻 俊彦 (キヤノン)	豊田 光紀 (東北大)
	吉澤 達也 (金沢工大)	岡野 英明 (東芝)
	庭山 雅嗣 (静岡大)	忠永 修 (NTT)
	南 功治 (シャープ)	湯浅 友典 (室蘭工大)
	山本 裕紹 (徳島大)	岡本 卓 (九州工大)
	小野 浩司 (長岡技大)	大出 寿 (オリンパス)
	大八木康之 (大日本印刷)	式井 慎一 (パナソニック)
	高橋 信明 (防衛大)	高原 淳一 (大阪大)
	高松 衛 (富山大)	陳 軍 (東京工芸大)
	杉浦 忠男 (奈良先端大)	栗辻 安浩 (京都工芸繊維大)
